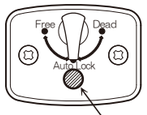
デッドロック機能

デッドロックボタンが付いているキーレックスの機能です。解錠をキー操作だけに切り替えられます。記憶ボタンによる解錠機能をロック【使用不可能】にすることで、解錠できる人員を限定でき、出入りを制限したい場所などに有効です。



① デッドロックボタンを押しながら

② 切替ツマミを Dead 側に回します

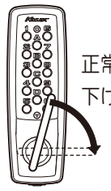
デッドロックから自動施錠へは
切替ツマミを
Dead → Auto Lock へ回します
（デッドロックボタンは押さない）

レバーハンドルの位置が正常でない時

レバーハンドルに『こじ開け防止・安全装置機能』がついています。記憶ボタン操作をせず強引にレバーハンドル操作をすると内部機構保護のため安全装置が作動し、レバーハンドルが空転して、上（下）位置でとまります。故障ではありません。

レバーハンドルの
正常な位置

レバーハンドルの位置が
右図になった時は
正常な位置に戻します



正常な位置まで
下げ戻す

正常な位置まで
上げ戻す

本図は KL2100 右吊元仕様（左吊元は対称）

記憶番号設定に関するご注意

- KL2100 , 1100 は 1 ～ 14 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は指定できません。
  例）記憶番号　1·2·3　の場合
  1·2·3　と押しても　2·3·1　3·1·2　1·3·2　と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）
  例）1·1·2·3 や 1·2·2·3 の設定はできません。

⚠ 注意　危険防止の為に以下をお読みください

■ **取付ねじのゆるみ**	● 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為定期的に増し締めしてください。
■ **受座の飛び出し**	● 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
■ **他の用途への使用**	● レバーハンドルにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
◆ **操作上の注意（故障の原因となります）**	● 製品の分解、改造はしないでください。 ● デッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。 ● ボタンを押しながら、ノブ（レバーハンドル）の操作をしないでください。
◆ **永くご使用頂くために**	● 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。 ● 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

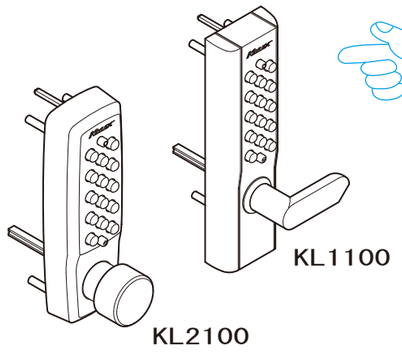
7260002

KEYLEX 2100 1100®

KL2100　KL1100
自動施錠

取扱説明書　（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



KL1100

KL2100

※ 各機種ともノブタイプ，レバーハンドルタイプがあります

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈 記憶番号の記録 〉
年　月　日
年　月　日
年　月　日
年　月　日
年　月　日
ただ今の記憶番号

キーレックス 2100　1100 シリーズ 保証書

お買い上げ日から 1 年間は、無料で修理を行なうことをお約束致します。
但し、誤用、取り扱いの不注意、災害、不当な修理や改造等に起因する
故障、又は 本証のお買い上げ日 及び 販売店名の欄に記入がない場合は、
保証期間内でも有料修理になります。

機 種 名：　**キーレックス 2100　1100**
22403, 22403M, 22403D, 22423, 22423M, 22423D, 22603, 22603M, 22603D, 22623, 22623M, 22623D

お買い上げ日：　年　月　日　保証期間：お買い上げ日より 1 年間

販売店
住所・店名

品質ロット No.　　検印

NAGASAWA
www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社　長沢製作所

東京支店　TEL. 03-5383-1811（代）
FAX. 03-5967-3103
大阪支店　TEL. 06-6783-5091（代）
FAX. 06-6783-5092
福岡出張所　TEL. 092-524-7031（代）
FAX. 092-524-7032

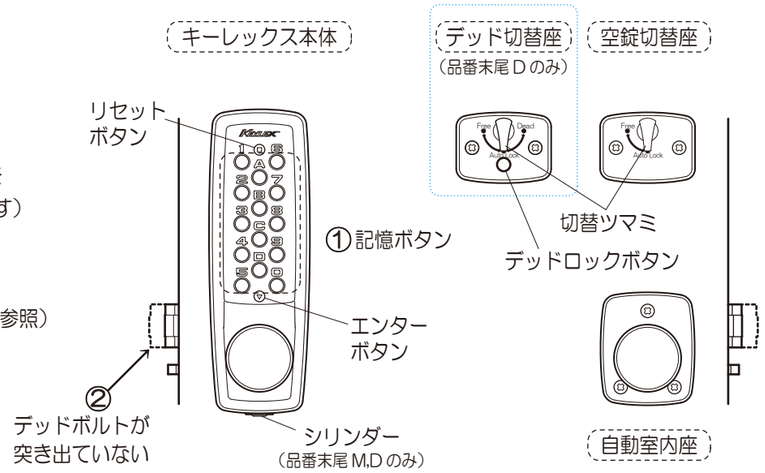
基本操作

ご使用前に確認してください

① 登録している記憶番号
② 錠のデッドボルトが突き出ていない
（突き出ている場合は、ノブ（レバー）を操作して、デッドボルトを正常位置に戻す）

※ レバー仕様の場合はレバーが真横にある
（真横にない場合は、４ページの
レバーハンドルの位置が正常でない時 を参照）

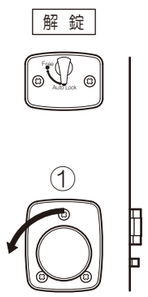
鍵付タイプ（品番末尾 M,D）の場合は
記憶ボタン操作の代わりにキー操作でも
開扉できます



室内側

施 錠
① 扉を閉めると、自動で施錠されます（Auto Lock 時）

解 錠
① ノブ（レバー）操作で、解錠できます

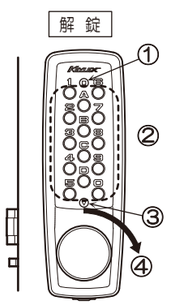


※ 本図は右吊元仕様（左吊元時は対称）

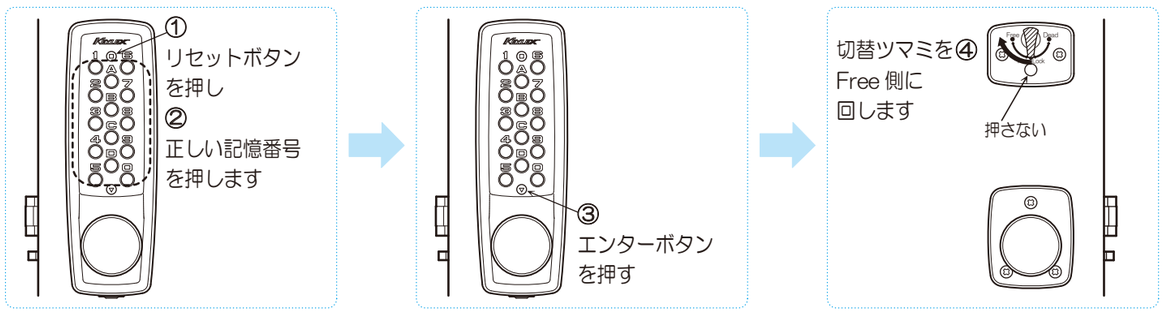
室外側

施 錠
① 扉を閉めると、自動で施錠されます（Auto Lock 時）

解 錠
① リセットボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます
② 正しい記憶ボタンを押し、③ エンターボタンを押します
④ ノブ（レバー）操作で、解錠できます



切替ツマミで、自動施錠から、扉を閉めても鍵がかからない状態（空錠）にすることができます（Auto Lock から Free）
扉を開けた状態で操作します



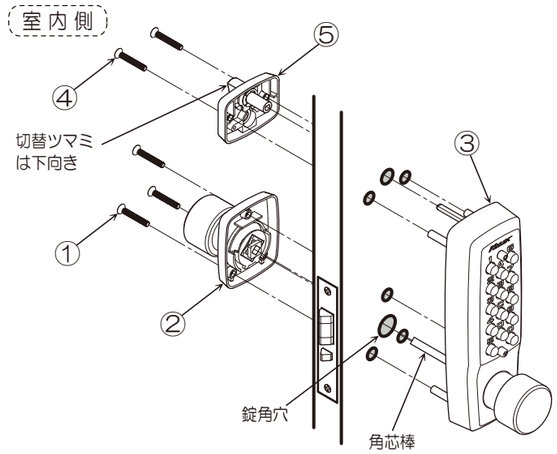
空錠から自動施錠へは、切替ツマミを Free → Auto Lock へ回します（デッドロックボタンは押さない）

記憶番号の変更手順　扉は開けたままの状態でおこないます

【１】キーレックス本体を取り外します

取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください

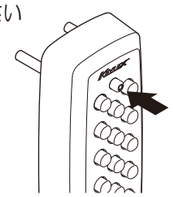
Ⅰ:①本体固定ねじ３本をはずし、②自動室内座を取りはずします
Ⅱ:③キーレックス本体の落下に注意しながら
④本体固定ねじ２本をはずします
Ⅲ:③キーレックス本体と⑤切替座を取りはずします



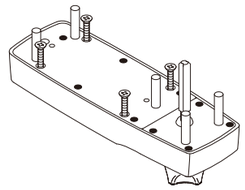
本図は右吊元仕様（左吊元は対称）

【２】記憶番号の設定変更をします

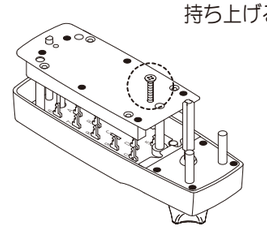
Ⅰ 本体表側のリセットボタンを押す
⑧まで記憶ボタンは押さないで
ください



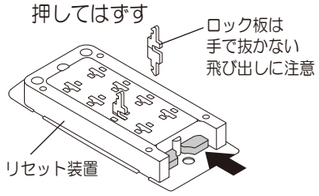
Ⅱ 本体裏のねじ４本をはずす
（赤色ねじははずさない）



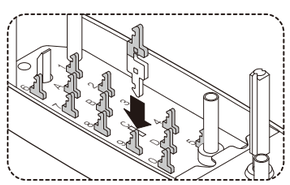
Ⅲ ねじを下図の位置に入れ
持ち上げる



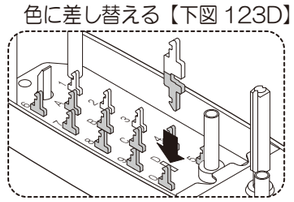
Ⅳ リセット装置にロック板が残った場合　灰色部を矢印方向に
押してはずす



Ⅴ 今までの記憶番号を消す：白色
のロック板を赤色に差し替える



Ⅵ 新規記憶番号をセット：新しく
記憶させる番号のロック板を白
色に差し替える【下図 123D】



⑦ 新規記憶番号を必ず記録します。本紙１ページに記入欄があります
⑧ リセットボタン ＋ 新規記憶ボタン ＋ エンターボタンを押し、ノブ（レバー）が解錠方向に回ることを確認します。
基本操作 室外側欄を参照します

【３】本体を取り付けます

【１】と逆の順番で取り付けます
角芯棒，切替ツマミの向きに注意して取り付けます（上図参照）

取り付けたら、扉を閉めずに２ページの 基本操作 で作動確認をします